

しかおい

議会だより

第116号

町の家計簿

2

クローズアップ2011・決算

4

9月定例会

8

議員3人の議員が問う

10

10年ぶりのこども議会

12

まちなか会議

14

第三者審議会答申

15

議会トピックス

16

■ 2012年10月25日発行

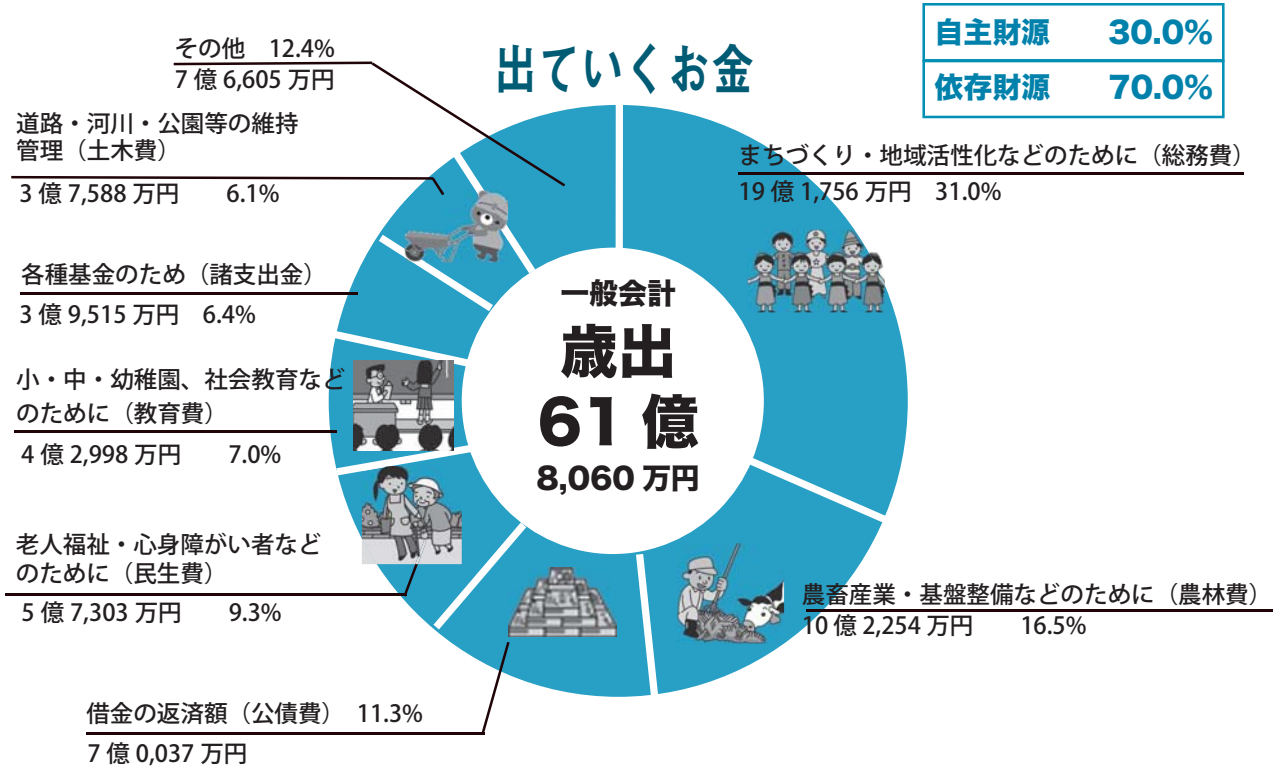
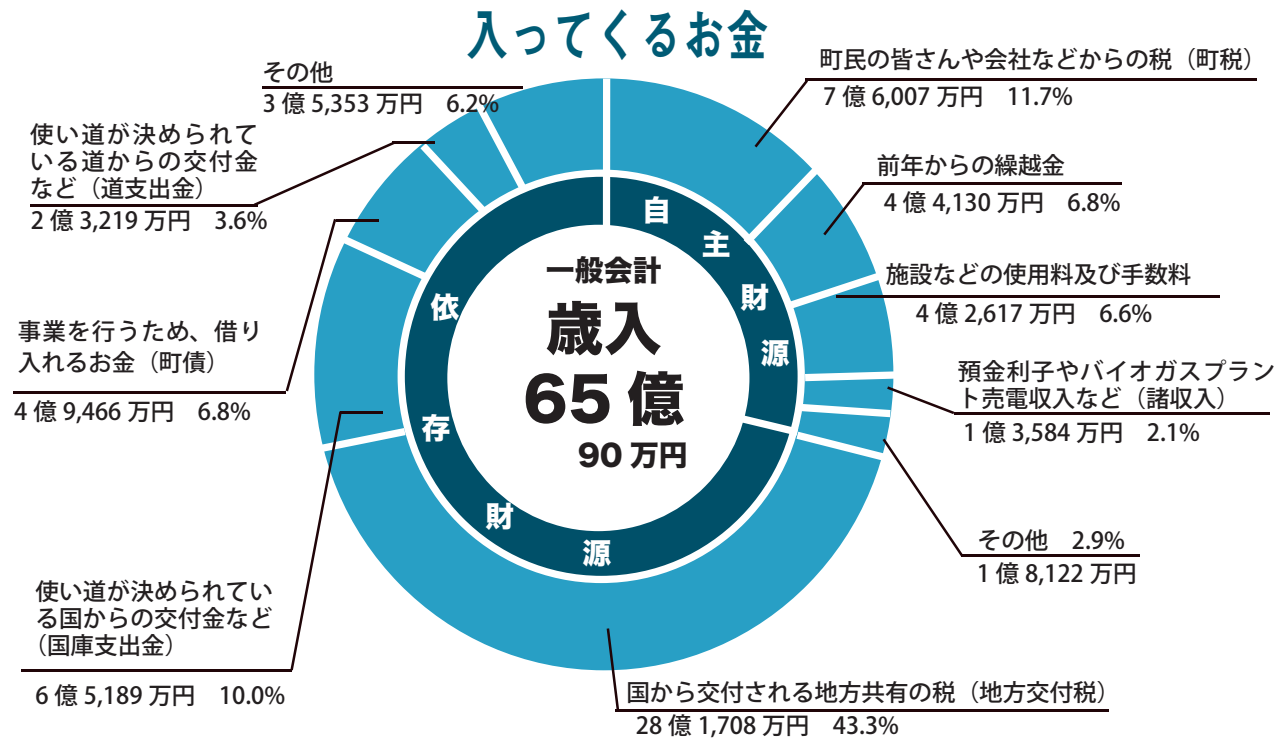
■ 発行者 北海道鹿追町議会

鹿追町の魅力発見！フォトコンテスト2011
「白樺 -10月の秋空に映え」 撮影者：成田智志さん（江別市）

【E-mail】 gikai@town.shikaoui.lg.jp

【URL】 <http://www.town.shikaoui.lg.jp/>

幅広い分野での事業の取り組み



3億452万円の収支残

第3回9月定例会は、9月6日から25日まで20日間の会期で行われ、地域振興対策などの補正予算6件、条例改正1件、駐屯地維持拡充を求める意見書など原案どおり全会一致で可決しました。

また、平成23年度の各会計決算も全員賛成で認定しました。

決算の審議

平成23年度各会計決算について、9月19日決算審査特別委員会（川染洋委員長）で審議されました。

決算審査では、エゾ鹿捕獲囲い、バイオガスの熱利用によるハウスの状況、環境

一般会計の残額
平成23年度の収入と支出の差額
3億452万円

〈残額の内訳〉

法律で定められて基金に積み立てる分	1億6千万円
翌年に繰り越される分	1億4,452万円

歳入では、使い道が決められている国庫支出金・道支出金が減額されましたが、町税は前年よりやや上回りました。

歳出では、台風の被害もありましたが、災害復旧費を含め継続的に経費の節減があり最終的に3億452万円の大幅な収支残となりました。

歳入では、使い道が決められている国庫支出金・道支出金が減額されましたが、町税は前年よりやや上回りました。

歳出では、台風の被害もありましたが、災害復旧費を含め継続的に経費の節減があり最終的に3億452万円の大幅な収支残となりました。



クローズアップ2011 決算

総務費
消防ポンプ自動車購入
3134万円



鹿追消防団に配備された消防ポンプ自動車の更新で、水に消火薬剤と空気を圧入するシステムを備え、水源の乏しい地域でも効率的な消火活動が可能となりました。防衛省の調整交付金を活用しました。

農林費
瓜幕川用水施設整備
4052万円

安定的な農業用水の確保を図ることを目的として、平成21年度から継続事業で実施しています。防衛省の障害防止対策事業の補助を受けています。

農林費
ワーキングセンター増築
6658万円

地元企業者等による農畜産物の有効活用や特産品開発のために、ワーキングセンターの加工施設を増築しました。北海道の地域づくり総合交付金を活用しました。

総務費
地域振興対策
7956万円

町内経済の活性化、住民生活の支援などを目的として実施されました。主な内容は、鹿追町くらし応援事業（プレミアム商品券発行事業等）1930万円、バイオガスの熱利用ビニールハウス事業1400万円ほか30事業です。



熱利用栽培の生薬

土木費
道路の新設改良
1億8155万円

継続事業の東瓜幕西19線外1改良舗装事業ほか16事業を実施しました。

土木費
公営住宅の整備
2862万円

公営住宅長寿命化計画に基づき、緑町中央団地に木造1棟2戸（2LDK）を建設しました。



緑町中央団地

災害復旧費
道路橋梁、農地等災害復旧
4401万円

昨年9月の大雨で被害を受けた道路、排水路等の復旧工事を実施しました。



道路からあふれた水



加工施設で作られたハム・ソーセージ

監査の意見
引き続き良好な
財政状況と判断。



野村英雄代表監査委員
○一般会計他各会計決算（病院会計を除く）

平成23年度決算審査を終え、財政分析の主たる指標には多少の強弱はあるものの財政的には大変良好な財政で推移していると判断する。

多様化する住民の要望に対応するためには、町民と議会、そして財政の立場においてお互いが信頼し、「協働の町づくり」を推進し、「活きて（経済の発展）生きる（福祉の増進）」を基に積極的な町政が執行されることを期待する。

○病院事業会計決算

平成22年度より始まった増改築工事は一部を除きほぼ終了し、地域住民の健康保持増進に欠かせない地域公的医療機関として大きな期待をするところである。

管内町立病院を見ると、単年度収支では当病院のみが赤字決算であり、極めて良好な経営成績である。

今後も、住民が安心して医療を受けられる地域の病院として、業務に一層の合理化と運営努力を期待するものである。



つばやき

■駐屯地維持拡充総決起大会、約600人の出席者、7304筆の署名、5町の住民の力、御協力ありがとうございました。

The 決算・質疑

9月19日に開催された決算審査特別委員会（川染洋委員長）で平成23年度の決算を審査、すべて原案どおり全員賛成で認定しました。

土木費



水道の老朽化

Q 町内で水道管破損の事故が起きているが、簡易水道の老朽化の調査は実施しているか？

A 然別湖畔の水道施設の老朽化が著しく計画をたてて対応していく。町内の施設も、長寿命計画を組み、改修を進める。

教育費



防災教育は？

Q 町内の各学校での防災教育の状況は？

A 鹿追町で考えられる災害（然別川の氾濫、地震による家の倒壊、停電、豪雪）対策のリーフレットの配布、地球学の中で防災教育、サバイバルグッズ、講演等を実施している。

民生費



介護相談の件数が減

Q 地域包括センターの相談件数が減っているが？

A 専任の保健師が3名、ケアマネージャーが3名、担当係も保健師でカバーし充分対応している。今後高齢者の増加にともない相談件数は増すと予想される。

総務費



未使用の公共施設の利用。

Q 使わなくなった北鹿追保育園、鹿美老人の家の状況は？福祉会館の利用状況は？

A 使用しなくなった施設については、1,2件の問い合わせがあった。有効な利用を働きかけたい。福祉会館の2階は書庫として利用、1階の利用はない。耐震の事も検討をしている。

総務費



交通安全対策は？

Q 交通安全対策で交差点・危険区域等のチェックは？

A 町道同士でどちらが優先か、わからないところがあり、標識、ドット線等の配置、交通安全指導を実施していく。

総務費



旧西原研究所施設の利用は？

Q 旧西原研究所施設の現在の活用状況は？

A 11月末まで町内の国営事業の建設業者の宿泊場所として提供。



バイオプラントの熱利用は？

Q 中鹿追の環境保全センターの熱利用は？

A 現在2棟のハウスでサツマイモと生薬を栽培、研究中。さらに冬期間のハウス栽培の具体的な検討を進めている。

エゾ鹿の捕獲。

Q サラウンナイに設置したエゾ鹿囲い罠の捕獲状況は？

A 週に1~2回職員が巡回している。夏は鹿がいない状況が続き、9月に1頭捕獲した。

農林費



町営牧場の整備は？

Q 町営牧場の整備状況は？

A 用地拡大をするが、そのうえで必要なものは整備する。

台東区との交流は？

Q 東京台東区との交流の考え方は？

A 子ども宿泊体験として11月末に町内小学6年生10名を視察に送る予定。防災協定、物産の販売もつながりをもっていきたい。

決算審査特別委員会

インターネットで見えてみて・・・



北5線 金子 孝伸さん

議会中継を見て、縁遠かった議会が身近になったことを実感しました。視聴者側はいつでもどこでも議会を見られることで、今まで以上に町行政に興味を持ちますし、議会もカメラの先にいる沢山の視聴者を意識することで緊張感も増し、より活発な議論が展開されるでしょう。今後も活用させていただきます。



中瓜幕 熊谷 拓さん

インターネットの録画で議会を傍聴しました。初めて議会を見ました。太陽光パネルへの補助とか、固定資産税の減免などに議会がおこなわれています。このように議会がおこなわれているんだなと感じました。しかし、議会です話している内容がわかる工夫、例えば目次等があれば見る人が増えるでしょう。



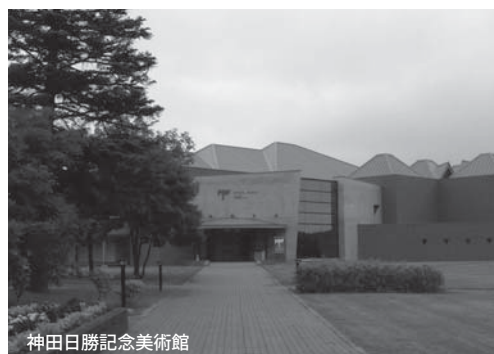
決算剰余金を活用した地域振興 対策費で総額1億467万円を 予算化。

地域振興費では町内経済の活性化、住民生活の支援などを目的とした40事業を実施します。

補正予算

- 3億4656万円を追加して、一般会計の予算総額を63億7461万円としました。
- 主な地域振興対策費は、
- 町くらし応援事業補助金 1730万円
- プレミアム商品券発行及び商工会年末謝恩セールに対して補助を行います。
- 生乳生産増産対策事業補助金 500万円
- 乳牛の新規導入等に対する補助で、町とJA鹿追町が同額を負担し、総額1000万円の事業として実施されます。
- 町内小中学校安全対策事業 533万円
- 各学校の安全対策として、電気錠、インターホンを設置します。
- 鹿追保育園・地域保育所施設整備事業 680万円
- プレハブ物置、給食用冷凍冷蔵庫更新などの施設整備を行います。
- 然別湖畔園地維持補修事業 300万円
- 園地の転落防止柵の補修を行います。
- 東瓜幕消防会館改修事業 456万円
- 断熱化などの改修と机、椅子等の備品を整備します。

- 農林費畜産業費では、
- 町営牧場用地取得費 6442万円
- 新得町屈足の山林・原野148ヘクタールを町営牧場及び町有林地取得。
- 住宅建設費では、
- 新あかね団地、緑町中央団地公営住宅建設 1億5275万円
- 新あかね団地では2棟8戸、緑町中央では1棟2戸の2LDKの住宅が建設されます。



神田日勝記念美術館

条例改正

町立神田日勝記念美術館

私立福原記念美術館

共通入館券を発行

町内の神田日勝記念美術館と福原記念美術館の共通の入場券を一般600円、高校生300円、小中学生200円にする条例の改正を全員賛成で可決しました。近年、両美術館の入館者数が減少していることを受け、近接する美術館同士協力して、町内外の美術ファンを呼び込む意向。9月27日から利用を開始しました。



福原記念美術館

同意

教育委員に白井あや子氏、河辺美佳氏、公平委員に石川修氏の提案に同意

任期満了による教育委員について、白井あや子さん(新町2)、河辺美佳さん(元町1)の再任について同意しました。又、任期満了による公平委員について石川修さん(緑町1)の再任に同意しました。

インターネット中継がはじまりました。

町議会では、本会議及び予算・決算委員会を多くの町民に見ていただけるようインターネット動画配信サイト、ユーチューブを利用して中継(事業費76万3千円)を行う試みを9月定例会からスタートしました。



○視聴方法

1. パソコンから

- 1) 鹿追町ホームページ内の「議会」、「議会中継」から。
- 2) Ustreamのホームページから「Shikaoi-gikai」で検索。

2. スマートフォン、タブレット端末(ipad)などで見る。

- 1) 専用のアプリをインストールして、検索画面から「shikaoi-gikai」と検索。

※視聴の際の注意事項がありますので、詳細は町議会ホームページをご覧ください。

鹿追駐屯地の維持拡充を求める!

意見書

提案者	山岸 宏 議員
賛成者	川染 洋 議員 吉田 稔 議員 安藤 幹夫 議員 上嶋 和志 議員 加納 茂 議員 狩野 正雄 議員 飯沼 新吾 議員 飯沼 新一 議員 武蔵 敦則 議員

※議長は規定により提案者、賛成者になれません。

意見書

「陸上自衛隊鹿追駐屯地は、然別演習場を擁し、鹿追・清水・新得・土幌・土幌の広大な警備地区を管轄しており、第5旅団の第5戦車大隊が駐屯していますが、近年削減される傾向にあります。地域住民の意思として、鹿追駐屯地の体制維持、更には新しい装備をもつ部隊を配備するなどの拡充を強く要望します。」

この要望を伝える意見書については、全員賛成で可決され、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

署名活動
意見書の提出とあわせ9月初旬、鹿追町内全域をはじめ警備地区に「駐屯地維持拡充」を求め町、自衛隊協力会、商工会等の協力のもと7304筆の署名を集めました。

総決起大会
9月25日、「陸上自衛隊鹿追駐屯地の維持拡充を求

める総決起大会」が町民ホールで開かれ、鹿追駐屯地の警備地区から約600人の参加がありました。各町議会から意見書の採択が報告され、「然別演習場をかかえる駐屯地の縮減は町づくりの根底が覆される」との決議文が埴淵賢治議長より読み上げられ、盛會に終了しました。決議文と署名は防衛省への陳情の際に提出されます。



総決起大会



町政を問う。

3人の議員が一般質問

光 観

然別湖周辺の整備

園地のバリアフリー化検討



狩野正雄議員

癒す温泉のぬくもりは観光客のなよりの楽しみである。しかし、然別湖畔には長く急な階段や橋のない川があるため遊覧船や足湯の楽しみを断念してしまふ方もいる。

高齢者や障がい者にも対応するバリアフリー化などの整備計画は。

吉田町長

永年の自然災害や水位変化の影響で転落防止柵が老朽化するなど、安全や景観が損なわれ

ている。スロープや橋の設置など園地で憩いを求める事ができるようにすることや、雑木処理を行い湖面が見渡せる遊歩道など自然公園法の基本理念にのっとり計画を作成し、再整備を進める。

質問

然別休養施設(旧北電寮)の修繕を行ったが、今後の利用計画は。

吉田町長

大雪山系の自然紹介や関連する資料の展示、登山者の安全確保に必要な機能を備える施設として改修を行い、民間資本の活用も検討している。

質問

山田温泉とかんの温泉を結ぶ峰越線再開見通しは。

吉田町長

平成18年より現在まで通行止めになっている。然別湖から然別峡への横断道として山の維持管理、観光資源活用として峰越線の役割は大きい。また防災の視点からも整備は必要であり、国と協議して復旧させたい。

狩野 正雄議員

然別湖周辺の観光施設整備と利活用策について



加納 茂議員

ジオパーク認定に向けたエントランス施設について



飯沼 新吾議員

職員の提案制度の更なる充実を・・・



然別湖畔の周辺を視察

地球科学

ジオパーク施設を

対応出来るよう進める



加納 茂議員

質問

ジオパーク認定に向けた取り組みが町を挙げて行われているが、然別湖周辺の全体像を示したジオラマや生息する動植物の標本などを展示するミニ博物館の要件を備えたインフォメーションセンターと呼べる施設が必要

ではないか。また、本町で行っている地球学の環境教育の一環として、鹿追町の自然を理解するための教育施設として位置付け役立てることもできることから、その設置を望む。

吉田町長

質問のインフォメーションセンターについては、観光客へのインフォメーション機能や、児童生徒への新地球学の事前学習を可能とする教育施設を兼ね備えたものというところで必要性を認識しているが、現段階では既存施設の有効利用を主に検討していきたい。

質問

同じ国立公園の隣町(上土幌町)では、国の折半で建てる事が報道されているがこのような方法がとれないのか。

吉田町長

新たに国立公園内に建物を建てるのは難しい。隣町では既存の博物館の老朽化によりそれが可



然別湖上流でのリバーウォッシング

町づくり

職員提案の充実

充実させたいと考える



飯沼新吾議員

与したもので。今年度からの職員自主研修に2つのグループからの申し出があり、1グループについては、昨年の東日本大震災の教訓から防災拠点施設として役場庁舎のあり方や災害発生時の職員の業務継続計画の策定などをテーマに先進地への視察研修を行い研究成果を期待している。

質問

いつ頃から進めるのか。

吉田町長

出来れば新年度から具体化していきたい。職員には細かい所にも気の付く職員になって欲しいと希望している。



宮城県南三陸町での職員の消毒活動



子ども議会

8人の子ども議員が一般質問

8月3日、10年ぶりとなる子ども議会が町議会本会議場で開かれました。将来を担う町内の小中高生が、鹿追の未来について意見をかわしました。

町長

Q なぜ町長になったのですか
A 良い町づくりのために



鹿追小学校 6年 道見美緒議員

(答弁) 吉田町長
町民皆の力で町づくりをし、子ども達に喜んでもらえるような町を引き継ぎたかったからです。
数多くの仕事がある町民のために頑張ってほしい。町民の幸せを毎日願いつつ仕事をしています。

(質問)

鹿追町は、「花と芝生のまち」として美しい町。他の町にはない取り組みもしていて、すごいと思います。

なぜ吉田町長は鹿追の町長になろうと思ったのか、どんな町にしようかと思いましたが、普段はどんな仕事をしていますか。

お店

Q 鹿追町にも魅力的なお店があれば...
A お店をひらく人を応援します



瓜幕小学校 6年 橋爪亜依議員

(質問)
たくさん観光客の皆さんに地元野菜や肉など食べてもらいたい。もっと魅力的な店があれば遠くに行かなくてもすむと思います。

(答弁) 吉田町長

地元の食材加工の工夫が必要です。そのため応援や、店を開こうとする人たちへの応援をします。地元のお店で買い物をするのも大切なことです。

カナダ

Q 訪問団との交流学習に関わって
A 様々なコミュニケーションの取り方



通明小学校 6年 武藤早希議員

することはできませんか。私と同じ6年生に、いろいろ聞いてみたいです。

(答弁) 吉田町長

武藤議員の積極的な交流を希望するご意見たいへん嬉しいです。ストニイプレン町はたいへん遠い町です。小学生が親元を離れ、長時間の移動を行うことは困難を伴います。パソコンを利用したテレビ電話でのコミュニケーションの外国籍の子どもの交流という方法もあります。

(質問)

カナダの小学生が訪問団として鹿追に来てくれる

カナダの事を知る上で自分自身や日本の事もよく理解しなければなりません。

新地球学

Q 新地球学の授業時間を増やしては
A 増やせないが、他にも方法が



笹川小学校 6年 佐藤修平議員

(質問)

地球学の勉強で、体験学習をする時間を増やし、自然とふれあう機会を多くするべきでは。

(答弁) 吉田町長

バランスのとれた学習が大事。簡単に増やす事はできない。家庭、子ども会、社会教育の中でも様々な体験ができます。

バイオ発電

Q 瓜幕の発電で何家庭分の電気が
A 約1500戸分の電力をまかなう



上幌内小学校 6年 菅原颯太議員

(質問)
地球学で中鹿追のバイオガスプラントを見学して興味がありました。瓜幕に新しくできるバイオガスプラントで、鹿追町の何戸分の電力がまかなえますか。

(答弁) 吉田町長
町では6年前に中鹿追のバイオガスプラントを建設し、牛のふん尿を利用し発電を行い、約590戸分の発電をしています。建設予定の瓜幕では約1500戸分の発電が予定されています。あわせて町の90%近く供給できることとなります。

スポーツセンター

Q 利用時間を長く
A 少しでも対応できるようにします



鹿追中学校 3年 山口さくら議員

(質問)
スポーツセンターの高校生以下の利用が17時までとなっているのですが、延ばす事はできないか。

(答弁) 小林教育長
現状では小中学生の利用は午後5時まで、部活動や少年活動は指導者や保護者のもとで、帰宅時の安全が確保されることを前提に概ね午後9時まで利用できます。
山口議員の意見を受け止めまして中学生については午後6時まで利用時間をのばすようにします。



(質問)

町の中の街灯が少ない。押しボタン式の信号は冬季に凍って使えないことが。センサータイプの信号を増やしては。

(答弁) 吉田町長

通学路となっている町中については、学校関係者の意見も聞きながら安心して歩ける通学路にしたい。
信号機については、町として管轄の警察署や公安委員会に強く働きかけたい。

瓜幕地区

Q 施設・設備の充実について
A 早急に検討します



瓜幕中学校 2年 播磨菜々穂議員

(質問)
瓜幕地区に子どもが遊べる公園や施設を増やしていただきたい。
また中学生がパソコンを利用できるスペースや、今より規模の大きな図書閲覧スペースがあると役にたちます。

少子高齢

Q 鹿追町における少子高齢対策は
A 魅力あるまち作りを進めていきます



鹿追高校 3年 藤井祐希議員

(質問)
日本全体が少子高齢化になっていきます。鹿追町も例外ではなく、どんどん人口が減っていると聞いています。次の2点について質問します。
①鹿追町の人口減少対策

(答弁) 吉田町長
瓜幕地区に公園遊具等少ない状況ですので、早急に検討しますので楽しみにしていただきます。
パソコンはウリマツクホールのロビーに設置することを考えています。

を教えてください。
②人口減少対策の中で私たち高校生に期待する事はありますか。
(答弁) 吉田町長
鹿追町の人口減少率は十勝の他町村と比較して減少率は緩やかです。
①出産までの検診費用の全額助成、中学生までの医療費の無料化等の支援、町内の定住促進移住の取り組みなど魅力ある町づくりを進めています。
②「学ぶこと」が学生の本分。小中高一貫教育による12年間の学習を通して、郷土愛や国際感覚をみがき将来鹿追に貢献できる人になって欲しい。

議長を務めた鹿追高校2年の高橋菜子さん



まちなか議

住民と議会を結ぶ

議会報告会



6月定例議会報告会 / 鹿追会場

6月定例議会報告会

7月11日(水)

鹿追へほほえみプラザ

瓜幕ウリマックホール

6月定例議会の報告会・鹿追会場では廃屋解体撤去事業補助金の活用方法、災害被災地の子供受入れの取り組みなど、瓜幕会場では、エゾ鹿の駆除の問題や旧西原環境研究所の活用方法など参加者から質問、意見が出されました。

9月定例議会報告会

10月5日(金)

鹿追へほほえみプラザ

瓜幕ウリマックホール

9月定例議会の報告会・瓜幕会場では瓜幕駅舎記念公園の遊具設置に伴い、公園で遊ぶ子ども達のための公共のトイレの設置についての意見が出されました。建設費や維持管理のこともあり、過去に設置は考えていないと町からの回答があったところですが、町に再度の要望を伝える旨の回答をしました。

鹿追会場では、町民ホー



9月定例議会報告会 / 瓜幕会場

およばれ懇談会

商工会とのまちなか会議

8月24日(金)、経済交流館においてまちなか会議(およばれ懇談会)が開催され、三井会長他17名の商工会関係者と議会議員全員による意見交換を行いました。

ルの温度対策をして欲しい。交通安全対策として道路の維持管理、補修方法などの意見、要望が出され町長にこの声を届けるとともに議会としても議論していきます。



商工会からの意見・要望として、

- 1、活き生き商品券の発行支援
- 2、年末謝恩大売り出し事業に係る支援
- 3、物品庫の増設
- 4、公共事業の拡充
- 5、水鉄砲選手権大会への助成継続

意見交換では、地場産の食材の利用、水鉄砲大会のあり方、町内の結婚祝賀会のあり方等々、話し合われました。

要望の1、2については、今定例会で予算を議決しています。その他の要望、意見を整理し対応をします。



教育委員との懇談により、いじめの対応など今後に向けての方策や共通の情報交換ができました。

懇談会

教育委員と懇談

8月21日(火)、総務文常任委員会は教育委員とのまちなか会議・懇談会を実施し、教育行政の課題や情報の共有で意見交換しました。

- テーマは、
- 1、小中高一貫教育の現状と課題
 - 2、今後の鹿追高校のあり方
 - 3、生涯学習と公民館活動
 - 4、次世代を担うスポーツ、文化活動のリーダーの育成。

第三者審議会答申

「時流に即応した議会改革を」

委員長 安藤 輝雄さん
副委員長 國島 新一さん
委員 田中 光広さん
佐々木 咲子さん
白川 悦子さん

答申より

「議会改革は、やみくもに行うものではなく、また、ただ単に他に追随することなく、町づくりや町民福祉の向上のために議会活動が円滑で活性化されるか効果を考え、鹿追町議会独自であっても積極的に推進していくことが求められる」

町議会では、町民参画により議会活動の着実な推進を図っていくため第三者による鹿追町議会議員定数・報酬及びあり方等審議会(第三者審議会)を設置しています。

この審議会は、議会議長の諮問に応じ、議員の定数や報酬及び議会のあり方等について審議するため平成23年5月からスタートしました。

8月29日、同審議会に検討をお願いしていた内容がまとまり、安藤輝雄審議会会長から埴淵議長に答申書が手渡されました。

答申内容は「一人でも多くの町民に議会活動が理解され、議員活動に支持・応援を得るためにも、常に時流に即応した議会改革を旨に住民参加がしやすいシステムを構築することが肝要である」とあり、次の答申が示されています。

1. 議会白書について

議員には、4年の任期が与えられており、その中で何をやったのかが問われ、

今後どう対処しようと考えているのかを示していくことは、説明責任を果たしていくことになる。

そのためにも「議会白書」の発行が、活動実績報告と今後の方策を表明する重要な方法・手段になり得ると考える。

2. 議会ホームページについて

現在、町議会のホームページをクリックすると議会に関わる多種の情報項目が列記されており、十分な

情報を得ることができている。内容を継続、充実していくことにさらに努力し、情報フレッシュであることなど管理方法に十分なる留意を持った対応を期待する。

町議会では、この答申を受けさらに議会改革を実施し、議会活動の着実な推進を行います。



安藤審議会会長から埴淵議長へ答申書を提出。





然別湖畔園地の環境整備を！



町自然公園施設運営協議会会長
小森 忠利さん

町自然公園施設運営協議会が然別湖周辺を視察しました。

近年、大雨や台風の影響により土砂等の流入により園地の芝生が流されるなど被害が出たままの状況にあり、湖岸の侵食も進み安心して周遊出来る環境にはありませんでした。また、雑木の成長により展望デッキからの眺望も悪く湖畔すら見えない状況のため観光客からの要望も強く、今後の環境整備が必要と判断しました。

予想以上に大雨による被害も大きく、早急に環境整備が必要と感じました。今後は、障がい者や高齢者も安心して周遊出来る然別湖であって欲しいと要望しました。

(取材・インタビュー) 山岸 宏

豊作への期待・作況調査



農業委員
桜井 公彦さん

9月10日、鹿追町合同作況調査が実施されました。町、JAの役員、議員、関係機関参加のもと各作物の生育状況を視察しました。

町全体を見ても、高収量を期待できる作柄でした。昨年発生した、飼料用コーンの病気も今年は発生が少ないとのことでした。

※写真は、今年の補助事業で導入したポテトハーベスターでの収穫作業。土塊が混じらず抜群に収穫しやすくなったそうです。

農業委員として参加しました。5月の大雨による時き付けの遅れで、心配されましたが、平年以上の作が期待できそうです。農家の皆さんには、収穫作業を安全に、確実に行なって頂きたいと思っています。

(取材・インタビュー) 武藤 敦則

編集後記

8月23日、議会の広報編集部員は札幌市で開催された広報研修会に参加し、編集の心構えやポイントについて研修をしてきました。講師の城市先生によるしかおい議会だより第114号のクリニックを受け、厳しい指摘、アドバイスも受けました。また、9月5日には広報モニター会議を開催し、「情報開示は積極的に」等の意見を頂きました。インターネット中継も始まり、より開かれた議会、より読まれる議会広報紙を目指して厳しい指摘、意見を真摯に受け止めていきます。

議会広報部会長 狩野 正雄

議会広報広聴常任委員会 広報部会

- 部会長 狩野 正雄
- 副部会長 武藤 敦則
- 部会員 台蔵 征一
- 上嶋 和志
- 山岸 宏